

競技注意事項

1. 本大会規則は、2017年（財）日本陸上競技連盟と本大会要項、申し合わせ事項による。
2. 招集は、プログラム記載時刻よりトラック種目は25分前に開始し15分前に終了する。フィールド種目は50分前に開始し、40分前に終了する。招集所は第4コーナー補助競技場側とする。その後、競技スタート位置へ移動する。
3. トラック競技のレーン・オーダー順及びフィールド競技の試技順は番号の順とする。
4. 1500m、3000mを除く競走競技の予選で、予選通過者（チーム）が8名（8チーム）を超える場合は、本部の抽選により決勝進出を決定する。（9名で決勝を実施することもあり得る）
5. リレー出場校は、リレーオーダー用紙を競技開始1時間前に提出すること。
6. フィールド競技の計測ラインは、原則次の通りとするが1回は計測する。（F以外）状況により変更もある。

	走幅跳	砲丸投
男子	5m20	9m00
女子	4m30	9m00

7. バーの上げ方は、次の通りとする。（雨天の場合は変更もある。）

	種目	練習	競技						
男	走高跳	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	～3cm
女	走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	～3cm
男	棒高跳	2.20	2.30	2.50	2.70	2.90	3.00		10cm

8. ポールは跳躍場において審判員が検査する。砲丸は、器具庫において審判員が検査する。
9. 決勝終了後、8位までの入賞者は表彰するので係員の指示に従い、本部に集合のこと。
 なお、表彰時は上半身ユニフォームになること。
 また、土屋賞（男女最優秀選手1名）と澤田賞（棒高跳び優勝者）を授与することとする。
10. スパイクは9mm以下のものでなければならない。ただし、走高跳は12mm以下とする。
11. ナンバーカードは競技規定に基づくものとする。不備なものは失格も有り得る。
12. 傷害事故発生ときは、当初の手当は本部で行うが以後の責任は負わない。
13. 全国大会への出場権は、個人種目は標準記録による。リレーについては、通信陸上競技大会の優勝チームと本大会優勝チームの中で、予選、決勝を通して記録の良いチームに出場権を与える。
 （男子4×100mR、女子4×100mR）
 東海大会への出場権は、本大会6位（6名、6チーム）に出場権を与える。繰り上げも有り得る。
14. 全国大会参加の標準記録に達した者、東海大会の出場権を得た者は、直ちに本部庶務席（ロビー）にて申し込み手続きをすること。（事前に申込書を配布予定）
15. 審判、補助員、競技者以外の競技場内への入場は禁止とする。競技を終えた競技者は最寄りのゲートより競技場外へ出ること。

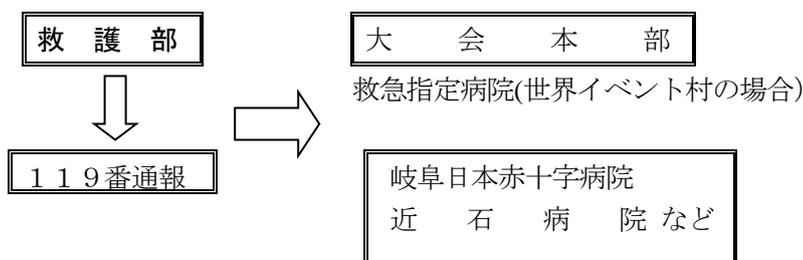
16. 応援・撮影などはスタンドからすること。競技場には入らないこと。応援マナーは十分に注意すること。
17. 控席等の清掃には十分気を遣い、ゴミ、カン、ペットボトルは必ず持ち帰ること。
18. 800m予選・1500m予選・決勝及び3000m決勝は、レーンを割り当てないので、スタートは十分注意すること。
19. プログラムの訂正は、8：30までに所定の用紙（巻末）に必要事項を記入して、本部に提出すること。
20. 開会式については、リレーに出場する選手（トラック種目NO. 4まで）以外は参加すること。
21. 本競技場での練習は8：00までとする。
22. スタートの合図は英語とする。（「オン・ユア・マークス セット」）
23. 総合の得点は1位8位～8位1点とする。

平成29年度 県中総体 開催にあたっての救急医療に関すること。

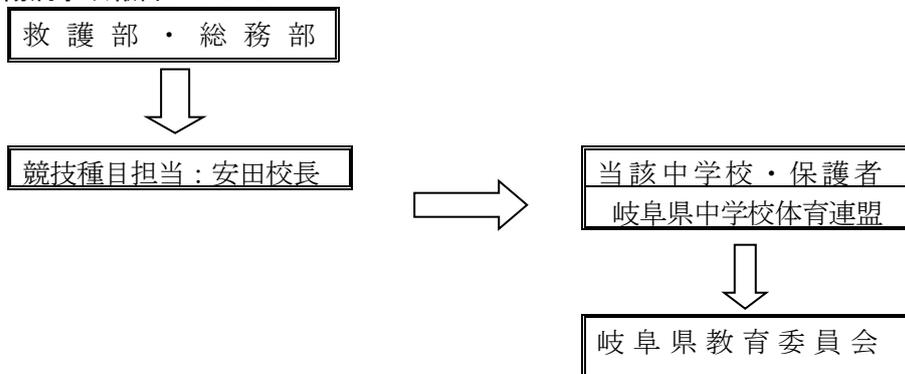
傷病事故発生時の緊急体制について

☆傷病事故が発生した時には、速やかにその状況を各関係者（県中体連・責任者・保護者）に報告し緊急連絡を取ること。（重傷、生死に関わる事故等について）

1. 救急処置について



2. 傷病事故報告について



3. 注意事項

(1) 救急車を依頼する場合の注意事項

- ア 救急車を依頼する場合は、まず患者の所在場所と症状を的確に連絡する。
- イ 救急車には、大会関係者及び顧問等を同行させる。
- ウ 大会本部へ必ず一報を入れる。その後、詳細を連絡する。

(2) 万が一事故等発生した場合には、窓口を一つにして対応すること。

（競技種目専門部長・県中体連会長）

(3) 事故発生時に関わる正確な報告文書を作成すること。（経過等含）